

平成29年度 事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

平成30年5月30日

学校法人 興國学園
興國高等学校

(1) コース概略とカリキュラム（教育課程）について

①平成15年度

平成16年度の新学習指導要領の施行を前倒しに新カリキュラムを実施。現実的には、教科「情報」と「総合的な学習」の実施を継続。

②平成16年度

普通科に新コース「キャリアトライコース」を設置。公務員（警察官・消防士・郵便局員・自衛官等）や、幼児教育（保育士・小学校教員）を目指すために必要な基礎的な知識・教養・実習をカリキュラムの中で実践継続しました。

③平成20年度

普通科に新コース「アスリートアドバンスコース」を設置。アスリートとしての戦績や学習面における優秀な進路実績を目指すためのカリキュラムを実践継続しました。

④平成21年度

普通科アドバンスコースとアスリートアドバンスコースにおいて、2学年より文科系・理科系のカリキュラムの選択制を導入しました。

⑤平成24年度

学則定員の増数（1680名から1800名・さらに1800名から1920名）
新入生募集人員の増数（350名から390名）

⑥平成25年度

普通科アドバンスコースのスーパーアドバンスクラス（略称：SAD）を難関国公立大学並びに医歯薬系コースとして内部で独立させ、アドバンスコースは2クラスでの運営となりました。

⑦平成26年度

新入生募集人数の増員（410名から460名）

⑧平成27年度

普通科スタンダードコースを進学スタンダードコースに名称変更し、指定校推薦を中心とした大学進学を考慮して、基礎学力を徹底して鍛えるカリキュラムを実行しました。これに伴い、各コースも生徒たちのよりよい学習環境づくりに邁進しました。

⑨平成28年度

新入生募集人数の増員（460名から505名）
スーパーアドバンスクラスとITビジネス科で募集人数を増員しました。

⑩平成29年度

・新入生募集人数の変更

（SAD 40名／AD 40名／AA 120名／CT 40名／AC 140名／IT 120名 計500名）

・新アリーナの完成とグラウンドの整備の完了により、本校の設備更新が一段落しました。

・進学アカデミアコース開設

従来の進学スタンダードコースを廃止し、『進学アカデミアコース』を新設致しました。その概要は、学習到達度や特別活動、進路の目標設定などで3タイプを選択でき、1年次より自分にあった学習スタイルや課外活動に取り組めるようになっています。

(2) 教育内容充実のための教育計画の推進

①平成 29 年度も「よりよい授業の確立」を目指して、1 学期には授業見学、2 学期には研究授業を実施しました。全教員が自教科・他教科の授業を見学し、各教科会議において授業における問題点を考察し討議を重ねた上で、資料として報告書を作成・提出いたしました。さらに、1 学期末には「先生たちの通信簿」を実施し、生徒からの授業評価をうけて問題・改善点を各教員が把握し、報告書を提出することで 2 学期以降の授業内容の改善に取り組みました。

また、放課後活動の充実のため、「KOKOKU 寺子屋」の講座をリニューアルし、生徒のニーズに対応した様々な講座を展開しました。平成 29 年度は 6 つの道場、計 30 講座を開講しました。特に、進学アカデミアコースの開設に伴い、語学教育に重点を置くなど大学進学に向けた講座を充実させました。具体的には、教育顧問の先生方にご指導いただく、「基礎力 UP プレミアム講座」および、国語・数学・英語の学力向上のために「大学入試サポート講座～ベネッセ模試対策～」を新設、さらに《グローバルコミュニケーション道場》には、アクティブラーニングによって英語力が身に付く講座を開講いたしました。また、新アリーナおよびグラウンドの完成にともない、《パーソナル・トレーニング道場》として、「KOKOKU 流マッスル・ファクトリー」および、「エンジョイ・フットサル」を開講し、運動部に所属していない生徒にも放課後の体力づくりに取り組める環境を整えました。

また、近隣地域の方々対象に、「KOKOKU 寺子屋～カルチャー教室～」(通称“ご近所寺子屋”)を開講しました。今年度も「パソコン教室」「書道教室」、そして、Mr.ミランダの「英語でクッキング」の 3 講座を開き、地域の方々との交流を深めました。

②生徒の望ましい進路選択と、志望の実現を目指し次のような施策・対策を講じました。

- ・新 2 年生の組分けに伴い、年度当初の 4 月に「2 年生保護者対象のオリエンテーション」を実施しました。全体会では、進路について進学指導部とベネッセコーポレーションより講師を招聘して、模試のデータを基にした進路講話と 11 月からコース毎に実施される研修旅行の概要を説明しました。引き続き、コース別ガイダンス、クラス懇談という流れで保護者の方々へ今必要な心構えや今後の流れを説明し、理解を深めて頂きました。
- ・3 学年対象に、自分の進路を発見する手立てとして「大学別ガイダンス」を主要 10 数大学で実施し、大学の入試部の関係者を招聘して、大学で学ぶことの基本的な知識と指導をして頂きました。
- ・2 学年より就職希望生徒に向けて、面接試験や学科試験の対策講座である『キャリアガイダンス』を実施しています。この講座は、就職試験本番まで定期的に関講し、個別面談や対策授業・テストなどを実施して、就職内定 100%達成となるように取り組んでいます。
- ・全コースとも年間を通じて、授業終了後の補習や「夏期・冬期・春期」休暇中に集中講座を実施しました。また、IT ビジネス科が夏期と冬期の勉強合宿実施を実施し、単に教科の学習だけではなく地域の企業での社会体験を取り入れるなど、コースの特色を活かした取組みを始めました。一方、進学アカデミアコースも自分の進路を勝ち取る力を身につけるため、冬期の勉強合宿を実施しています。

③スーパーアドバンスクラスがスタートして、今年度初めて 2 クラス編成での運用となりました。

これも近年、理系科目を重視したカリキュラムにより、国公立大学や難関私立大学への合格者が大幅に増加し、その中でも京都大学医学部や大阪大学、神戸大学といった難関校に複数の合格者を輩出できた事が大きな要因かと思われます。また、理系進学希望生徒のためのガイダンスを企画し、今年度はロボット工学でアンドロイド研究の第 1 人者である大阪大学基礎工学部の小川浩

平先生に「知能ロボティクス」（アンドロイド研究）という題目でご講演頂きました、将来の進路決定への参考として、今後より多くの分野別ガイダンスを企画して参ります。

また6月には、アドバンス系の生徒を対象に将来法曹界を目指す生徒のために、本校理事であります荒尾幸三先生にご依頼し、中之島中央法律事務所の見学会を実施しております。ここでは、将来弁護士を目指したいという生徒たちが弁護士事務所を訪問し、法曹界の状況・裁判や判決やエピソードなどを荒尾先生からご教示いただき、若手の弁護士の方に生徒たちが興味を持っている事などの質問を受けていただいております。この行事に参加した生徒から法学部への進学を真剣に考える契機となっています。

④アスリートアドバンスコース(AAコース)ではアスリート独自のカリキュラムに取り組みました。

その取り組みの一環として、6月に京セラドームで実施されました「体育大会」では、AAエアロをコース全員で披露しました。そして、7月には1年生が校外体験学習として「AAトライアスロン」を広島県のしまなみ海道にて実施し、水泳・バイク・マラソンの3種目にチャレンジ致しました。また、このコースは大変人気があり、4クラス編成で理系、さらに文系を習熟度に分けて運営しています。その中でもアスリートプログラムに特化させたGroeien(グロイェン)クラスを設定いたします。また、アスリート育成のための講座や大阪体育大学まで移動・実施していた体力測定を、今年度完成した本校アリーナを使用して、大阪体育大学の教授と学生のご協力により、校内で実施することが出来ました。

⑤キャリアトライ（公務員）コースの自衛隊体験入隊について

2年生52名が、防衛省の協力のもと毎年実施している自衛隊体験入隊において、今年度は石川県にある航空自衛隊小松基地を訪問し、2泊3日の行程で基本教連や自衛隊第一体操、飛行機事故に備えての救難訓練などを受けて参りました。他では体験できないような様々な訓練を経験して、公務員という仕事の重責を感じ取ることが出来た体験入隊でした。

⑥進学STコース運営委員会の発展的な運営に基づき、朝の学習を全学年あげて取り組み、コース毎に到達目標の設定を考慮しつつ、自立学習と学習意欲の伸長を進めました。この取り組みは、全学年とコースで継続実施されており、進路決定への大きな力の一翼を担う取り組みに発展しています。

(1年生は読書、2年生は英国数の基礎学習、3年生は新聞学習並びに基礎演習)

一方、進学アカデミアコースでは、刷新されたカリキュラムにより「リーダーシップ（責任感）」「フレンドシップ（協調性）」「パートナーシップ（社会性・モラル・マナー）」の学びを中心として、ICT教育の一環として導入された“Classi”を活用して、家庭学習の実践や学校と家庭との通信（緊急時含む）などに使用している。また、1年次より進学の意識を芽生えさせるために「総合大学」への見学ツアーの実行や校外学習も生徒自ら行先の企画や事前学習を取り入れて、各行事に対してアクティブに関わり、習慣を定着させるトレーニングを積み重ねています。

⑦ITビジネス科の新たな取り組みについて

ITビジネス科での進路実績は、「ITアドバンスコース」においては、上位大学への合格者を多数輩出出来るレベルとなっており、平成29年度卒業生では、大阪市立大学・滋賀大学・立命館大学をはじめとして、約8割の生徒が4年制大学への進学を果たしています。これを継続発展させるため授業は週4日を7時間授業とし、長期休暇中の講習では90分間の授業を実行し、大学受験対策だけではなく、資格取得の対策も万全にしています。一方、「ITビジネスコース」でも4年制大学への進学が増加し、ITアドバンスコース同様の措置が取られています。また、このコースでは「情報系学部」へのニーズが高まっており、その実現のため「ゲーム制作」に関する本格的なプログラミングなどを学ばせるという目標の下、現2年生の選択授業で大阪芸術大学および清風情報工科学院専門学校とのコラボ授業を実施しています。ここでは本格的なプログラミングおよびアート制作

を学んでおり、その成果に期待を寄せています。

(3) 生徒指導の充実と、多様な対応

- ① Say Hello Project という挨拶運動を学期始めの1週間を利用し、毎朝生徒通用門前に教職員に加えて、生徒会、クラブ員代表、クラス代表の生徒たちも参加し、登校する生徒たちへ気持ちの良い挨拶が出来る取り組みを行いました。
- ② 携帯電話の校内使用を全面禁止し、マナーを遵守させる指導を徹底させました。
- ③ 遅刻をした生徒には、放課後に残り、生徒の学力に合わせた課題を40分程度取り組ませ、遅刻を繰り返さない指導を行いました。
- ④ モラルやマナー育成の為、教職員と各クラスから選出した生徒と協力して、周辺地域の清掃活動「クリーン大作戦」を4回にわたって実施しました。
- ⑤ インターシップの取組みについて

就職指導では夏季休暇中に**13社**（グルメ杵屋・山文商事・コノミヤ・吉川運輸・アートコーポレーション・トヨタカローラ新大阪・名和組・松浦建設・浪花組、**追加企業**⇒都エンタープライズ・タケモトピアノ・がんこフードサービス・ダイキン工業）でのインターシップを実施。また、マナーや心構え等を確認するために、インターシップ直前にセミナーを実施しました。実社会での服装、挨拶、マナーや表現力、コミュニケーション力を肌で感じる事が出来たことで就職を希望する生徒達にとって貴重な体験が出来ました。3月には昨年同様アートコーポレーション様にご協力を賜り、有償インターシップを実施していただいております。その為、希望生徒対象にアート様より、プロとしての心構えと作業の基本的な指導を講義と実践により、レクチャーしていただいております。これらの取組みにより、これらの実践により就職活動を本格化させる2学年の生徒達の就労意欲を高めることができました。

このインターシップを通して就労することの意味や意欲を身に付けさせた結果、1次内定率を**85.0%**（全国平均**62.7%**）最終内定率は今年度も100%を達成することが出来ました。

⑥ 人権カウンセリングより

不登校や集団生活に馴染みにくいなどの悩みを持つ生徒に対して、別室（カウンセリングルーム）にスクールコンシェルジュ（校長経験者）を複数名配置し、個別指導はもちろん、休暇中における集中指導や対象生徒の指導だけではなく、保護者の方の悩みなど相談できる場を校内に設置しています。また、問題を抱えている生徒やその保護者も交えて、悩みや疑問について話がしやすい環境校外に場所を移しまして、ものづくり体験や皆で見学するという体験を通して、進級・卒業への契機となればということを確認しました。

(4) 授業改善への取組み

- ① 授業改善のため、全教科担当者に対する生徒からのアンケート（「先生たちの通信簿」）を1学期末に実施し、自己点検すると同時に、教科としての改善すべき取り組みを明確にしました。
- ② 授業の質を高めるために、習熟度別授業やチーム・ティーチング（複数担任授業）を充実させました。
(例) 国語・数学・英語・簿記会計・体育の武道（柔道・剣道）・情報・書道・進学スタンダードコースにおける選択授業等
- ③ 3学期に研究授業を実施し、各教科における授業のあり方を追求したほか、1学期には公開授業週間を設け、教員のレポートを通して反省点や改善点を明確にしました（教科内・教科外の授業も見学・検討することとしました）。

- | | | | |
|-----|-------|--------|---|
| 5. | 〃 | 6月26日 | 「天遊」大阪市小学校連合会主催講演会（講演者：草島葉子校長） |
| 6. | 〃 | 7月15日 | 90周年記念講演会『得意に帆を揚げて』（講演者：数学者 秋山 仁氏） |
| 7. | 〃 | 8月 6日 | 高体連サッカー大阪大会“開会式”（参加 251校 男女共約 1500名） |
| 8. | 〃 | 8月28日 | 中体連サッカー総会・抽選会（中学校顧問 約 450名出席） |
| 9. | 〃 | 9月 9日 | 大阪エヴェッサドリームクリニック |
| 10. | 〃 | 10月14日 | 柔道実技講習会（新柔道場柿落とし） |
| 11. | 〃 | 10月23日 | AA コーストップアスリート講話（ラグビー元日本代表 野澤武史氏） |
| 12. | 〃 | 10月28日 | 大阪南ロータリークラブ主催「福祉チャリティーコンサート」 |
| 13. | 〃 | 11月26日 | 天王寺バレーボール連盟主催「秋季大会」（9人制 18チーム） |
| 14. | 〃 | 12月 1日 | 天王寺区役所主催「区内3中学校合同サッカー講習会」
（セレッソ大阪コーチによる実技指導） |
| 15. | 〃 | 12月17日 | 天王寺区吹奏楽フェスタ（区内の中学校・高校の吹奏楽部が出演） |
| 16. | 平成30年 | 2月28日 | 進路ガイダンス（2年）〔講師：近畿大学入試広報課長 屋木清孝氏〕
※その他、学校説明会、始業式・終業式並びに卒業式の式典を行い、アリーナを最大限活用
しております |

（7）入学生徒数の安定的確保の取組み

①平成29年度の志願者数1,500名、入学者数892名の、定員（500名）を大幅に上回る入学者を受け入れました。また、下記のような渉外企画部に関わる活動を繰り広げました。

- ・全職員で大阪府下を中心に、約500校の中学校を夏期休暇中に訪問し、本校の独自の取組みと、入試における特徴的な要項の周知に努めました。
- ・8月に中学校の教員対象の学校説明会を開催し、本校の新たな取組みである進学アカデミアコースの内容とその学びの特色やカリキュラムを中心に既存のコースと共により一層の理解を深める工夫を凝らしました。また、クラブ活動の生徒の加入率が上昇するのと同時にその成果を生み出している洗練されたクラブ指導者とそこで活躍しているクラブ生を紹介し、生徒の獲得のための方策を打ち出しております。
- ・9月に学習塾対象の学校説明会を開催し、併せて個別に塾訪問するための専属の担当者を配置し、地域別にきめ細やかな訪問が出来るように取組みました。
- ・2学期に、中学生と保護者対象の学校説明会及び個別相談会を4回開催し、クラブ体験の機会も与えながら、専願者の確保に努めました。

また、8月のKOKOKU夏祭、11月のKOKOKU体験フェスティバルや学校説明会を3回実施し、本校の生徒たちを全面に押し出して、充実した施設も含めてアピールする場面を多く設定しました。これに加えて保護者の方や中学生からの進路相談に応える場として、「個別面談会」を設定し、本校への理解と生徒獲得のために計5回実施しました。

- ・「出前講座」と銘打って、本校の教員とサポート生徒が中学校（84校）へ出向き、パソコン・調理（英語でクッキング）・公務員講座・スポーツ関連等の体験授業を、中学校の「総合的な学習」の時間等を利用し、進路保障の一環として繰り広げました。また、本校に中学生が来校して、高校生活を実体験する高校体験留学制度も定着し始め、今年度は9校に増加しております。以上の活動により、本校の教育設備や内容の充実度が実体験することによって、受験者数や入学生の確保に貢献しています。
- ・その他、渉外関連のアイテム（学校案内パンフ・学園だより・学校紹介ビデオ等）にも工夫を凝

らして、さらに充実させ、生徒や保護者が共感できるように努めました。

- ・AAコースの生徒募集に向けて具体的かつ有効的な方策を、渉外企画部とAAコース運営委員会が一体となって展開し、結果的に209名（募集人員120名）の新入生が入学しました。

（8）クラブ活動・生徒会活動の活性化

- ①2017年度にインターハイ、国民体育大会や選抜大会といった大会に多くの運動クラブ（ボクシング・ソフトボール・レスリング・ゴルフ・陸上競技・自転車競技・スキーの各部）が全国大会出場権を獲得しました。新しいところでは、卓球部が全国選抜大会個人戦にて全国ベスト16に入賞するなど、各クラブの活動が活性化しています。伝統ある硬式野球部は、夏の大阪大会で39年ぶりのベスト8まで勝ち進みました。新チームの秋季大会でも、ベスト4まで進み、あと一步のところまで甲子園の切符を手に入れる事が出来ませんでした。どのクラブも選手強化のため学校が全面的にバックアップをしており、大いに活躍が期待されるところです。
- ②クラブ活動強化のため、2017年度も“堺ブレイザーズ”と提携し、バレーボール部へのコーチ派遣をしていただきました。また、練習場所として新アリーナも供用し、一昨年、3部からスタートしたチームが1部昇格を果たし、今年度も**1部リーグのブロック大会において第2位**という実力をつけてきております。
- ③生徒会活動の一環として、東日本大震災復興支援活動を2011年の地震発生以来、継続して被災地の学校への支援を継続して参りました。今年度は、図書館充実の援助を一旦留保し、来年度（H30年度）新規に開校する小・中学校への支援を準備しております。まだまだ微力ではありますが、本校の重要な取組みの1つとして支援を継続していく所存です。

そして、20年来継続しておりますネパールとの交流ですが、一昨年の大地震で壊滅的な状況から歩みは遅いですが現地の小中学校への援助を、また、当初からの支援校である“ラクシミ小中学校”の児童・生徒への教育支援の奨学金制度（8学年、各学年1名ずつ）も継続して実施しております。

（9）進路保障の多様性とその充実

- ①各コースの特徴を生かした進路保障を、各分野で昨年度の実績を上回る形で下記の通り果たしました。（％は、全卒業生数比率）

項目	H29年度	H28年度	H27年度
四年制大学	422名 (55.8%)	416名 (60%)	388名 (53%)
短期大学	6名 (0.8%)	15名 (2.1%)	21名 (3%)
専門学校	116名 (15.3%)	91名 (13.1%)	140名 (19%)
就職	156名 (20.6%)	140名 (20.1%)	169名 (23%)
浪人未定	46名 (6.1%)	31名 (4.5%)	18名 (2%)
その他（留学等）	10名 (1.3%)	2名 (0.2%)	

※浪人未定の46名の大半が、志望大学への進学希望のため。

・【各分野における具体的な進路先の例】

* 四年制大学

国公立大学（京都大学・大阪大学・神戸大学・筑波大学・防衛医科大学校・防衛大学校

・東京医科歯科大学・大阪教育大学・広島大学・滋賀大学・大阪府立大学
 ・大阪市立大学等 他多数合格)

私立大学 (早稲田大学・上智大学・同志社大・立命館大・関西学院大・関西大・中央大
 ・青山学院大・東京理科大・近畿大・龍谷大・京都産業大・甲南大 他多数合格)

*短期大学 (龍谷大学短大・関西外国語大学短大・大阪芸術大学短大・大阪青山短大 他)

*専門学校 (大阪法律・大阪あべの辻調・修成建設・国際東洋医療・大原簿記法律
 ・トヨタ神戸自動車大学校・西日本ヘアメイクカレッジ 他)

*就 職 (新日鐵住金・西日本旅客鉄道・日本郵便・きんでん・ロイヤルホテル・カネカ
 ・アートコーポレーション・神戸屋・上組・福山通運・トヨタカローラ新大阪
 ・トヨタカローラ南海・山文商事・吉川運輸・医療法人 錦秀会 他)

*公 務 員 (国家公務員 刑務官・地方公務員 警視庁・大阪府警・兵庫県警・奈良県警
 ・高知県警・大阪市交通局・自衛隊 一般曹候補生 他)

②本年度AAコースから、プロサッカー選手 5名を輩出いたしました。

名古屋グランパスエイト、清水エスパルス、ツヴェーゲン 金沢に各1名、セレッソ 大阪には2名がプロに昇格しました。今後のJリーグでの活躍が大いに期待されます。

(10) 学校評価について

毎年、全職員から提出された自己評価、並びに次年度の目標設定を記載したシートを基に管理職との個別面談を全員に実行しています。この面談を通じて、職務に対する姿勢や方向性を互いに認識し合い、資質向上と学校運営の発展に努めています。下記の表は、今年度(平成29年度)提出された個々のシートを整理・集約したものです。

<平成29年度 資質向上自己申告票のまとめ>

[単位：人]

No.	項目	評価S	評価A	評価B	評価C	評価D	その他	小計
①	校務分掌	2	12	36	32	6	0	88
②	担任業務	2	12	23	18	4	0	88
	副担任業務	0	0	14	9	0	6	
③	教科指導	2	15	38	30	1	2	88
④	クラブ活動	1	10	25	38	10	4	88
小計		7	49	136	127	21	12	352
評価分布状況 (%)		2.0	13.9	38.6	*36.1	6.0	3.4	100%
(上段/H29年度数値)		4.1	17.7	39.5	30.1	6.2	2.4	
(中段/H28年度数値)		3.9	12.0	36.7	31.8	7.0	8.6	
(下段/H27年度数値)								

《表の見方》

(イ) 項目の①～④は本校の業務分類です。

(ロ) 評価S～Dは、次のように5段階評価で分類します。

・**評価S**：大幅に目標を上回っている。

- ・**評価A**：少し目標を上回っている。
- ・**評価B**：目標通り。
- ・**評価C**：少し目標を下回っている。
- ・**評価D**：大幅に目標を下回っている。
- ・**その他**：校務分掌等で該当の業務分担がない教員の人数

(ハ) 調査対象者は、専任教諭**56**名、常勤講師**32**名 の計**88**名です。

(二) 今後の改善点

①教職員の資質向上に向けて

- ・教科間ないし教科外の教員が互いに授業見学を取り入れ、授業の質向上に役立てています。
- ・新しい取組みのための学習や資格取得等の講習へ積極的に参加しております。
- ・教育の実践に活かせることが出来る専門分野の方の講演会を定期的を実施しています。
- ・この他、新任教員の研修にも努めています。

②生徒指導・学習指導・進路指導について

- ・通学路や交通機関利用時、並びに自転車通学を含めての登下校時のマナーを徹底
- ・クラブ活動や興國寺子屋への参加率向上を目指します。
- ・高大連携を費用面だけに留めるのではなく、高大相互に授業の連携を図り、大学進学時に単位認定を考慮する取組みを進めていきます。
- ・大学入試や社会の要請に応える力をさらに育成するため、漢検・英検受検の充実を図ります。
- ・全コース、学習能力向上の為に勉強合宿実施を進めていきます。
- ・個別指導のさらなる充実のため「学習カルテ」や豊富な経験を持つ「学習ソムリエ」指導を推進します。

(11) その他

①キャリアトライ（保育幼児初等教育）コースでは保育園のご好意により四天王寺夕陽丘保育園の行事日程に合わせて実習の機会を提供して頂き、実際の保育現場での実習を行う事ができました。

- | | | |
|-------|------------------|--------------|
| ・保育実習 | 平成29年7月25日～8月25日 | 於：四天王寺夕陽丘保育園 |
| ・夕涼み会 | 平成29年8月25日 | 於：四天王寺夕陽丘保育園 |
| ・運動会 | 平成29年10月1日 | 於：四天王寺夕陽丘保育園 |
| ・文化祭 | 平成29年11月4日 | 於：興國高等学校 |

②9月にPTAと共催して「第16回・生徒の未来を育む会」を開催しました。今年度は『松下幸之助の人間像と人を生かす心』～明日に向かってチャレンジし続けた人生～という題で、長く松下幸之助氏の側近として活躍されました岩井虔氏にご講演をお願いしました。岩井氏は、PHP研究所の専務取締役として活躍され、現在は客員として、幸之助イズムを継承するべく、ご講演に奔走されておられる方です。岩井氏のお話は、幸之助氏とのエピソードや直接師事された教えなど非常に興味深く、松下幸之助氏の人間像が浮かび上がって来ました。この講演を通じて、保護者の方だけではなく、教員に対しても生徒たちへの指導に役立てることが出来る貴重な情報を提供して頂き、大変有意義な講演となりました。これに関連して、本校の生徒たちへのバイブルとして、PHP研究所の助力も頂き完成いたしました『君よ、オンリーワンの人となれ』という冊子を生徒全員に配付し、“ONLY一祈念日”にこの冊子の文書を基に感想文を提出させました。その審査に全教員が関わり、優秀作品には表彰状と記念品を贈呈しました。この取り組みにより、今後読書感想文の発表など文

化的見地に立って営んで行くという方向性を見出すことが出来ました。

- ③地域に奉仕する学校づくりの一環として、近隣の人々に参加を呼びかけ、コンサートを年2回（9月に夕暮れコンサート・12月にクリスマスコンサート）吹奏楽部を中心に開催していましたが、今年度は、アリーナを使用して「てんのうじ吹奏楽フェスティバル」を開催しました。毎年区内の実施会場が改修中のため、天王寺区役所からの要請によって本校での開催となりました。当日は区内にある中・高の吹奏楽部が一堂に会して、1000名以上集いました吹奏楽ファンの方や保護者の方々を楽しませてくれました。
- ③11月実施の文化祭も保護者はもちろん近隣住民の方々も大勢参加されて、クラス展示や模擬店、アリーナでの催しなどに喜ばれていました。4000名ほどの食事も必要で模擬店だけでは不足するので、PTAと共に近隣の店に依頼して食事提供にご協力いただきました。また今年度、ITビジネス科と大阪芸術大学がコラボしまして、プロジェクションマッピングに挑戦しました。今後、高大連携を推進し、情報系分野の授業実施を目的に連携強化を図ります。
- ④1月、第10回「クラブ年初始動式」を生徒会主催で実施しました。クラブの活躍と発展を祈念して、全運動クラブ部員と保護者、教職員が久保神社に参拝後、アリーナにて各クラブの代表者から力強い決意表明を発表しました。また、書き初めで「大揮毫」という大きな作品が創作され、エントランスに飾られました。その後、生徒たちによる餅つきがあり、生徒、教職員、保護者の方に、また一部は日頃お世話になっております近隣にもふるまわれました。
- ⑤2月にCT（保育幼児初等教育）コースの2・3年生は、授業の一環として取り組んでいる「ピアノ」演習の成果を今年度も「ピアノ発表会」にて、文部科学省後援の「保育技術検定」の課題曲バイエルを披露しました。この他、ハンドベルの演奏や本校ウインドアンサンブル部とのコラボを行い演奏や合唱など、来場された聴衆の方々に楽しんで頂きました。
- ⑥生徒の健康や安全教育の一環として、心肺蘇生法（CPR）やAEDの使用方法について、入学当初の4月に実施された宿泊オリエンテーションは皮切りに、体育の授業において救急救命講習を開き、前述の技術の習得を図り、緊急時の対応が出来る教育を実施しております。
- また、アスリートアドバンスコースでは、2・3年生全員に春と秋の2回救急救命講習を受講させて、命の尊さを体現させています。
- ⑦高大連携について
- ・大阪商業大学と高大連携の一環で、3年生の希望者を募り10名を選考しました。その10名は、毎週月曜日に大学のキャンパスに通学。そこで一般学生と共に受講して、定期試験ないしレポートを提出して単位を認定して頂ける画期的な連携を実施しております。
 - 前期・後期共、2単位ずつ計4単位取得することが出来、大阪商業大学に入学すれば4単位が認定されることとなります。他大学へ進学しても、1年間で経験したことが必ず生かされることと思います。
 - ・大阪電気通信大学では、平成28年度から高大連携の協定校として認定され、入学金減免など本校の生徒に対して、有利な条件で入学出来る道を確保しています。また、来年度よりOTビジネス科の生徒中心に、ものづくりに興味のある生徒を抽出して、理系生徒の育成していく。
 - ・毎年9月に約1週間、関西大学の学校インターンシップ生を受け入れております。今年度で9年連続、学生本人が本校をインターンシップ実習先として指名して頂いており、今年度も学生1名が、応募して参りました。その実施内容として、教科の指導補助（国語科）や担任業務の補助、カウンセリング生徒の補助などの業務を実践しました。また、2月には、びわこ成蹊スポーツ大学から初めてインターンシップ生を受け入れ、様々な業務の体験を積んで頂きました。

⑨今後の進路指導として、私立大学はもちろんのこと、国公立も含めた各大学との高大連携を進展させます。まだ一例ではありますが、大阪商業大学以外以外の大学との講義受講により単位認定や医療系、理工系の大学とも交流を深め、また、大学からの出前講義やガイダンスを通じて、自分進むべき進路を一人一人がしっかりと定めて、その目標を達成できる道筋をつけること。そして、将来は様々な分野で我が国を支え、牽引出来る人材の育成に努めて参りたいと思います。